②食育月間以外の月の取組

	出都道府令指定者		名 名	山梨県
	組 市 町 組団体・		名 名	大月市
取	組の	名	称	OTSUKITCHEN
実	施		期	令和元年 9月26日(木)
				令和元年10月29日(火)
取	組り	7	容	【ねらい】
				推進員が講師となり、支援学校高等部生徒を対象に、「朝食欠食の解消」と
				「食事バランスの必要性について」など、生活習慣病予防に関する知識を、講
				話や調理実習を通じて普及します。
				講話については食事バランスや朝食の大切さ、減塩や砂糖の摂り過ぎに
				注意する、野菜を摂ることの大切さ等の内容でシナリオやフリップ等の
				媒体を使いながら、わかりやすく伝えました。
				〔対象者〕 9月26日(木)生徒14名 先生8名 推進員10名
				10月29日(火)生徒 6名 先生5名 推進員 8名
				〔メニュー〕 ほうとう・きゅうりのシーチキン和え・フルーツョーグルト
				〔実施場所〕 9月26日(木)支援学校 食堂
				10月29日(火)支援学校 家庭科室
				[実施内容] ① はじめの会(支援学校生徒)
				② 講話「食生活を見直そう」
				③ 調理の説明
				④ 調理実習
				⑤ 試食・意見交換
				⑥ おわりの会(支援学校生徒)
				⑦ あとかたづけ







②食育月間以外の月の取組

提政	出 都 道 令 指 定		果 名市 名	山梨県
取 取	組団体	町 柞		甲州市
取	組の	名	称	甲州市食育番組「みんなでおいしく食べるじゃん」の放映
実	施	時	期	第2回:令和元年8月1日~15日(期間中1日4回)
				第3回:令和元年12月1日~15日(期間中1日4回)
				※第1回は、食育月間(6月)の取り組みとして報告しています。
取	組	内	容	甲州市内のケーブルテレビ局で 15 分間の食育番組 「みんなでおいしく食べるじゃん」
				を放映し、市民の食に対する意識啓発を図りました。
				【対象】甲州市民
				【場所】市内全域
				【内容】
				・甲州市内の食育活動及び地域の特産物等の紹介(第2回)
				甲州市大和町の栖雲寺が、現在一般的に食べられているような麺状の蕎麦である
				「蕎麦切り」の発祥の地だと言い伝えられていることについて紹介するととも
				に、蕎麦の花の特徴や開花時期等についても紹介しました。
				・「塩山式手ばかり」の紹介(第2回)
				1回の食事に「何を」「どのくらい」食べればよいかの目安を、自分の手を使っ
				て知ることができる甲州市オリジナルのツール「塩山式手ばかり」について、成
				り立ちや活用方法等を紹介しました。
				・出汁の活用の啓発(第3回)
				煮干しで出汁をとって味噌汁をつくる様子を放映し、出汁を活用することの利
				点について周知啓発を図りました。
				・こども料理教室(第3回)
				甲州市食生活改善推進員会が市内各地域で実施している「こども料理教室」の様
				子や参加した子どもへのインタビューを放映し、事業を周知するとともに、「自
				分でつくって食べる」ことや「みんなで一緒に食べる」ことの楽しさについて啓
				発を図りました。
				・ぱきぱきマン体操(第2回・第3回)
				朝食を食べることの大切さや食事バランスのよい食事のとり方など、食育のキー
				ワードが盛り込まれた甲州市オリジナルの食育ソング「ぱきぱきマンの歌」に合
				わせて、市内の保育園児が「ぱきぱきマン体操」を踊る映像を放映しました。

②食育月間以外の月の取組

提	出都道府県	名	山梨県
政	令 指 定 都 市	名	
取	組市町村	名	 身延町 「身延町立身延清稜小学校」、「中富学校給食センター」
取	組団体・企業	美名	
取	組の名	称	本を活用した食育への取り組み
実	施時	期	11 月
取	組内	容	【読書週間とのコラボ給食】
			- 読書调間に本の中に出てくる料理を、コラボ給食として提供しました。ねらいとし

- では、児童の食体験を増やすことだけではなく、以下の2点を重視しました。
 - ① 読書週間に、いつもみんなが読んでいる本に登場する料理を給食で提供することで、料理に親しみ、その本にも親しんでもらいたい。
 - ② 知っている本に登場する料理を献立に取り入れ、献立を楽しみに思ってもらい、日々の献立に興味を持ってもらいたい。

給食で、本の料理を再現するために、調理員さんとミーティングをし、1つ1つ手作りしました。また、学校司書の先生方にも協力をしていただき、本の展示や給食の写真などを掲示するだけではなく、本に出てくる料理や、給食で提供したメニューを家庭用にアレンジし、児童が実際に調理することのできるレシピを配布しました。







さらに、給食の時間の指導において、調理員さんがどのように給食を作ってくれているのか、実際に写真を見せながら説明をし、児童の献立への興味関心を高める働きも同時に行いました。

実施後にアンケートを実施し、「来年もコラボ給食を食べてみたいですか?」という問いについては、「はい」の回答が 96.2%であり、「コラボ給食の本を読んでみたいですか?」という問いについては、「はい」の回答が 70.4%と、ねらいをほぼ達成できました。今後も創意工夫をし、実施していきたいと考えています。